

今、子育てに求められているもの

以前、ある講演会で聞いたお話を紹介します。子育ての参考にいただければ幸いです。

○オリンピックに出場した選手の子どもの時代を調べてみると、次のような共通項目が浮かんできたそうです。

- ・ あったかい家庭で育っている。
- ・ 「あんたはあんたやから好き」と愛情をいっぱいもらっている。
- ・ 「ならぬことはならぬ」といったしつけがされている。
- ・ 子どもの時に、何かをやりとげる人との出会いを経験している。

夢を持ち、その夢を実現する人間になるためには、やはり家庭の果たす役割が大きいと言えます。



○話は変わって…。学童期と呼ばれる小学校時代。この学童期に、さて次の4つは子どもたちの身についているのでしょうか。

- ・ 自分一人で学校に行けるようになる。

家庭での「愛」があれば、子どもは安心して自分一人で学校へ行くようになります。「行ってらっしゃい」や「お帰り」の言葉の中にいっぱいの「愛」をつめ込みましょう。



- ・ 学ぶことを覚える。

自分から学ぼうとする力をこの時期につけることが大切です。そのためにも、いっぱい遊んだり運動させたりすることが必要です。与えられる時間でなく、自分で考えて使える時間が必要なのです。

- ・ 自分の長所と短所を自覚するようになる。

日々の集団生活の中で、自己中心的な考え方しかできなかった子どもが、次第に他人の存在を意識し他人と比べるようになります。そして、自分の長所短所に気付いていくのです。「あなたの長所は何？」その長所をうんと伸ばしてあげましょう。

- ・ 「友情」「共感」といった気持ちが芽生える。

毎日学校で出会う人とのやりとりを繰り返しながら、子どもは自然と「人として大切な心」を育てていきます。様々な人との出会いやふれ合いを大事にしたいものです。

言い方を変えれば、この4つはこの時期にきちんと子どもたちの身につけさせておかねばならないものなのです。そのためには、やはり家庭の果たす役割が大きいと言えるのです。



○子どもは、親のペットではありません。親の自己満足のための所有物でもありません。今、子育てに求められているものは、外見を飾ることではなく、この時期にこそ必要な内面（心）をしっかり育てることなのです。子どもの脳は肌にあるといいます。だからこそ、しっかり抱きしめてあげてください。いっぱいの愛情で、子どもたちを温かくくるんであげてください。